

高レベル放射性廃棄物ってどんなもの? 安全な処分方法は?どこまで進んでいるの?

あすかエネルギー・フォーラムでは2006年に「原子力発電100の用語」アンケートを実施しました。その結果、私達が最も知りたいのは発電後に残される放射性廃棄物、とりわけ危険度の高い「高レベル放射性廃棄物」についてであることがわかりました。

そこで 原子力バックエンド工学の専門家、東北大学の朽山 修先生をお招きし、勉強会を開催します。皆で話し合いながら、しっかり勉強してみませんか?

2008年

2月2日(土)

13:00~16:30 (開場 13:00)

会場:虎ノ門パストラル ホテル

8階 けやき

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-1

TEL.03-3432-7261(代)



朽山 修先生プロフィール

昭和44年：京都大学大学院理学研究科修士課程修了

昭和46年 東北大学工学部助手

昭和57年 東北大学工学部助教授

平成15年 東北大学大学院工学部教授を経て現在、
東北大学多元物質科学研究所教授

原子力安全委員会専門委員・経済産業省総合資源エネルギー調査会臨時委員

専門分野は原子力バックエンド工学。
超ウラン元素の溶液化学が研究の主テーマであり、
これに関連する放射性廃棄物の地層処分の安全評
価など原子力バックエンドの諸問題の解決に取り組
まれています。

第一部

9:30 活動報告&意見交換会

12:00 昼食・休憩

第二部

13:00 講演

講師 栄山修教授

「高レベル放射性廃棄物について」

14:35 休憩

14:45 グループディスカッション

15:55 発表

16:25 講評

16:35 閉会

お問い合わせ：あすかエネルギー・フォーラム事務局 電話：03-5640-0777 FAX：03-5640-2636
info@asca-ef.org

主催 NPO法人 あすかエネルギー・フォーラム・ 経済産業省資源エネルギー庁
協力 (財)社会経済生産性本部